

～まちの話題～

第3回 愛知県市町村対抗 駅伝競走大会

阿久比チーム町村の部で4位



大健闘 モリコロ賞では1位

第二区ジュニア男子の部を走った濱崎友伯君は、第三区を走る父政伯さん

でもさまざまなドラマが生まれました。世代を超えて、それぞれの思いをタスキにつないだ駅伝。阿久比チームの中

阿久比代表チームは前半から三位と好位置をキープ。途中、第七区一般女子の部で二位まで順位を上げました。その後も力走を続け、昨年十五位から

駅伝競走は公園内の九区間二九・七キロ周回コースで行われ、県内六十一市町村が市と町村の部に分かれて、小学生から四十歳以上までの男女年齢別で健脚を競いました。



おめでとく
高尾瑠君（東部小六年）
第六区小学生男子の部で区間賞



途中2位まで順位を上げた古川さん

とつ」と選手たちの大健闘をたたえました。

チームを率いた鈴鹿敦監督は「結果には大満足です。たくさん練習した成果が出ました。チームワークで心とタスキがつながりました。皆さんありが

へタスキをつなぎ、親子で頑張る姿がありました。第七区一般女子の部と第九区一般男子の部で出場したのは古川夫妻。出産のためにしばらく走ることが休んでい

たという古川千歩さんは「我が子に自分の頑張る姿を見せたいという気持ちで走りました。苦しかったけど、皆さんの応援で楽しく最後まで走ることができました」と笑顔で話していました。



力走する阿久比町代表の選手たち



一本のタスキに思いを込めて

愛知万博メモリアル第三回愛知県市町村対抗駅伝競走大会が十二月六日、愛・地球博記念公園（長久手町）で開かれ、阿久比町チームは四位と大健闘。町を代表して出場した九人の選手たちは一本のタスキにそれぞれの思いを込めて力走しました。昨年十五位からいっせいに順位を上げる大躍進。前年度大会よりも順位上げ率が伸長したチームに与えられる「モリコロ賞」では一位に輝きました。